

令和元年度 第1回 小野申人といきいきトーク

と き	令和元年1月29日(水) 19時~20時30分
と ころ	府中市役所
テ ー マ	これからの府中市の子育て支援について
出席者	府中すばる幼稚園保護者11名 市長、唐川健康福祉部長、荻野教育部長、 山田女性こども課長、門田学校教育課長

今、府中市でも子育て・教育の点については、重点施策の一つとして挙げさせていた
だき、進めているわけだが、そうした中、まさに子育てをしている皆さんの意見を聞き
ながら、今後の府中市政にも取り組んでいきたいと思っている。

市

《公園・子どもの遊び場所》

- ・ 幼児に関する支援は手厚いと思っている。遊ぶところもあるし、ポムポムのように
遊ばせるところもある。いいなと思っているが、小学生の子が遊ぶところがない。
- ・ 小学生になると、公園に親がついて行かず、遊具が古かったり、人目に付きにくいと
ころだったり子どもだけで遊ばせるのには不安がある。
- ・ 年齢が上がると、室内では走らないとか、制限がある。年齢が上がってくると、走り
たいし、そうやって遊ぶからこそ体力もついていくし、体の使い方も覚えていくと思う。
そういう場所が、今、富谷ドームランドや尾道運動公園など市外にしかない。

今、計画として挙げられているのは、現在、広谷保育所でしている子育てステーション
を来年(令和3年)4月に府中天満屋2階に移転し、保健師と保育士に常駐させ、そこを
中心に、母親たちの相談コーナー、隣接したところに芝生広場(50m×30m)や多目
的な遊具を設置して、小さいお子さんから小学生くらいが遊べるようなスペースも考え
ていきたいと思っている。そして、デジタルを使ったものも考えて、中学生、高校生も
対象にしたい。

ほかにも、もう少し先だが、ポムポムの隣の広場にも公園を整備する計画もある。

- ・ 学校のグラウンドは休みの日に子どもが入って使ってもいいか。

学校のグラウンドは、学校施設として学校管理下にあり、休みの日は、原則施錠して
いるため、自由に入出入りは難しい。学校の施設のため、そこでケガをしたりすると、学
校で対応ができない恐れもある。

教
部

- ・ TAM(あさひ児童館)の使い勝手が良かった。幼児でも小学生でもよく、体育館もあ
り、図書館も近くにある。先生もしっかり見ていてくれていたと思う。なくなって残念。

- ・ ポムポムは親の居場所が少ない。ポム時代は見られていたお父さんの姿が減ったと感じる。
- ・ 地元のグラウンドは、予約が必要で使用料がかかるが、できれば、小学生まででいいので、予約がないときは無料で使わせてもらえたらと思う。

地域のグラウンドは、地域の方が管理されているところが多いので、町内会の人と話をしてほしい。

市

《子育て情報》

- ・ 第一子で次の過程に進むときに不安になる。特に小学校に入るときの情報がなくて不安を感じた。

《子育て支援》

- ・ 親が府中市を好きになったら、子どもたちも社会人になって帰ってくると思う。子育て支援は、子どものことを第一に考えなければならないが、母親の不安を解消するということが一番大事だと思う。

《府中市について》

- ・ 市外から来たが、お店もホームセンターもあり、買い物に困らない。また、役所関係の申請も全て市役所でできるので、便利。コンパクトでいい。

《府中天満屋》

- ・ 子どもだけでは天満屋に行ってはいけないことになっている。天満屋に公園などをつくるのであれば、子どもだけで行けるようにしてほしい。

《学校》

- ・ 広谷地区の中学校へは一中へ行くことに決定したが、登校する道が危険なので、ぐるっとバスのルートを学校の坂の下まで行くように変更してもらい、子どもたちの登下校の安全を図ってほしい。
- ・ 小学校3年生以上のクラスの人数について、1クラス40人というのをやめて、35人にしてほしい。40人1クラスは、正直しんどい。

広谷地区の学区を決めるときは、通学区域審議会で地元の声もききながら決定した。今、言われたことを採用できるか分からないが、ぐるっとバスを利用するというのは、今までになかった柔軟な形での提案だと思う。

1クラスの人数は、法律に基づき小学2年生以上は1クラス40人という枠の中で教師の人数が決まっている。その中でも教職員の加配や専門スタッフの活用、市費職員の任用など手立てを講じている。働き方改革も含め子供と向き合う時間の確保に努めたい。

教部

《保育所の給食費(副食費)》

- ・ 府中市は、保育所の給食費(副食費)が無料になっているが、なぜ、幼稚園は無料にならないのか。
- ・ 療育に通っているが、そちらについても副食費について実費がかかっている。

原則として、給食費にあたるものは自己負担。理由は在宅でもかかる経費であるということと、義務教育でも給食費は自己負担というのが原則としてあるので、現時点では幼稚園においては、国の制度に合わせて有償にしているところ。

教
部

《療育支援》

- ・ 子どもが発達障害ではないかと思っても、家族に「違う」と言われ、家の中でも孤独になる。市としてそのフォローをしてほしい。
- ・ 市内には児童発達支援所があるが、発達が気になって希望しても空きがない場合もある。また、診断を受けるのに半年待ちという人もたくさんいる。相談ができるところを府中市にも作ってほしい。

福山市には、こども発達支援センターがあり、そこは府中市も共同運営している。医師の確保が難しい状況で、去年は2名だった医師が、今年は1名に減っているため、診察まで時間がかかっている状況がある。

子どもの発達について、保育所でも相談できるよう職員のスキルを上げるようにしている。また、日常の支援やお母さんの支援などは、女性こども課に、公認心理師、保育士、保健師がいるので、相談してほしい。

ただ、医師の確保が難しい状況のなか、すぐ市内に医療機関をつくるというのは難しい。

女
課

前向きな意見もいただいているので、それも含め、ポムポムの親の居場所のことなど、意見をいただいたので、1つでも2つでも取り入れる方向で取り組みたい。

市